

短 報

福岡県におけるヤギマルケシゲンゴロウの採集記録

中島 淳・井上大輔

Record of *Hydrovatus yagii* (Coleoptera, Dytiscidae)
from Fukuoka Prefecture, northern Kyushu Island,
Japan

Jun NAKAJIMA and Daisuke INOUE

ヤギマルケシゲンゴロウ *Hydrovatus yagii* は小型のマルケシゲンゴロウ属の一種で、本州と南西諸島の一部の地域から知られている(森・北山, 2002)。著者らはこれまで分布記録がないと思われる九州(福岡県)において、本種を複数個体採集しているのでここに報告する。

なお、井上・中島(2009)は福岡県からチビマルケシゲンゴロウ *H. pumilus* を採集データの伴わない形で紹介しているが、同所でその後新たに得られた個体を詳細に検討した結果、それらはすべてヤギマルケシゲンゴロウであった。したがって、井上・中島(2009)におけるチビマルケシゲンゴロウはヤギマルケシゲンゴロウの誤同定であることが判明した。ここに訂正するとともに、新たに採集データを示す。

1ex., 31. VIII. 2008; 2exs., 28. IV. 2009; 2exs., 25. IX. 2009; 2exs., 4. VIII. 2010; すべて福岡県北九州市若松区有毛, 著者ら採集・保管(図1)。

採集した環境は畑地の突き当たりにあるため池で、池尻や周囲は林に囲まれている。古くからの沼地のように堤体の盛土がほとんどなく、地元の方の話でも昔から水が枯れたことがないという。池の半分ほどをアンペライが覆っており、他にはガマやヒルムシロ、栽培品種と思われるスイレン属の一種などが見られる(図2)。本種は特にアンペライ群落中の根際などで採集されたが、個体数は多くないようである。また、この池では同所的にキボシチビコツブゲンゴロウ、コツブゲンゴロウ、チビゲンゴロウ、マルヒラタガムシなどがみられた。



図1 福岡県北九州市産のヤギマルケシゲンゴロウ



図2 採集した池の外観

謝辞：末筆ながら誤同定をご指摘下さった北野 忠博士(東海大学)にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

【文献】

井上大輔・中島 淳(2009)「福岡県の水生昆虫図鑑」196p. 株式会社マツモト, 北九州。

森 正人・北山 昭(2002)「改訂版 図説日本のゲンゴロウ」231p. 文一総合出版, 東京。

(福岡県保健環境研究所)
(福岡県立北九州高校)